

### 昨年度末の活動

平成30年3月17日(土)日本赤十字岡山県支部より講師をお招きして『防災セミナー』を開催しました。



講師の方はこの町内出身の娘さんで、丁寧な言葉の中にも岡山弁が混ざり、人を呼ぶのもおっちゃん、おばちゃんという状態・・・約3年前の熊本地震を引き合いに出し、アドバイスをしていただきました。避難所生活での知識として、二人一組になりそのパートナーの肩から背中をさするリラクゼーションの実践で、女性の方たちはスナリ。男性同士ではなかなかやろうとせず、「おっちゃんたちもやってみようよ。」と指導が入り「普段からスキップをしてねえんじやろうよ。」と指摘される始末。全員が大笑いのなか予定通り終了しました。

また、2月17日(土)には65歳以上の方を対象に『転倒防止講習会』も開催しました。転倒を予防し健康的に毎日を過ごすには、食事に少しだけ気を使い、適度な日光浴や、運動をするのがいいそうです。連島高齢者支援センターは、特養のみどり荘内にもあり、様々な相談に応じています。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受け、発行しています

### 男の料理教室開催

11月7日(水)愛育委員の協力を得て、『男の料理教室』が開催されました。参加者は、昔の映画『荒野の七人』ならぬ『好々爺の七人衆』。



エプロンや三角巾は自前の人、奥さんの借りた人と様々です。準備は万端、格好だけはそれなりに一丁前の状態。

メニューは豚汁、卵の花の和え物とサラダとすることで、先生の「では始めましょう」の一言で調理を開始、時が経つほどに料理もできあがりまりました。

最後に先生が特別に、クルミのお菓子を作ってくださいとお食事タイムとなりました。こういう所で、しかも大勢の人と食べる食事の味は格別でした。帰りには、お土産とともに「レシピ」もしっかりと持って帰りました。

(総務部部长 米田 廣)

### 栄養伝達講習に参加

11月28日にかすみふれあいハウスで開催された栄養教室に参加しました。当日は、20名を越える方が集い、とても賑わいました。



献立は「エネルギー控えめのメニュー」ということで、麦とろご飯、ちゃんちゃん焼き、切り干し大根の胡麻和え、あおさのすまし汁、バラのりんごかんを作りました。うす味を心がけて作ることで、初めは「うす味では物足りないのでは？」と思いましたが、出来上がったとちようど良い味付けで、とてもおいしかったです。

みんなでおしゃべりしながら和気あいあいと作る事ができ、とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

(愛育部支部長 安原 有里)

# かすみ

霞丘コミュニティ協議会 連島霞丘地区社会福祉協議会だより

## 『地域の復興を願って』

霞丘コミュニティ協議会  
連島霞丘地区社会福祉協議会  
会長 佐分利 正志

本年度は、7月の西日本豪雨で真備町が大災害を受け、これまで最も災害が少ない地域と言われ安心して生活してきましたが、河川の決壊が深夜であった為、55人の死者、多くの家屋が水没するというかつて経験したことのない未曾有の災害に見舞われました。

台風、地震等の大災害時、避難指示が発令された場合は安易に考えずに、自分自身の安全を守る行動がただちに求められます。

当学区内も山に接しており、土砂崩れ、西部排水路(内川)等の増水が心配されます。地域の皆様と力を合わせ、命を守る行動を呼びかけ、安心、安全な地域作りに努めて参ります。

真備の被災者の皆様が、一日も早く普段の生活に戻れます様願っています。

## 第7号

発行  
平成31年3月  
発行責任者  
会長 佐分利 正志

今年度は、体育部の予算で輪投げの用具を購入し、幼児から高齢者の方にも参加をいただいで、楽しい輪投げ大会を開催しました。

他にも、ニュース等でご承知の通り、高齢者の方々の交通事故が多発している為、『高齢者交通安全講習会』を水島



警察署の協力を得て実施し、加害者、被害者にならない様注意喚起を行いました。今年度も地域の皆様には、コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会の活動について大変お世話になりました。



また各部の皆様には、大変お忙しい中、期初計画に基づき、コミュニケーションを図りながらのご支援、ご協力によりまして、計画通り活動が無事終えることが出来たことを感謝申し上げます。

## 第1回ワナゲ大会

11月28日(日)弁財天公園で第1回ワナゲ大会が行われました。

子どもから、お年寄りまで多数の参加者があり1人が9本のリング(輪)をワナゲ台に投げて得点を競いました。リングが9点の支柱に入ると歓声が上がるなど楽しく競技することが出来ました。

表彰式の後、子ども達は、賞品のお菓子を受け取り楽しそうでした。次回の大会も皆さん奮ってご参加下さい。



### 編集後記

『かすみ』だより第7号を発行するにあたり、今回もたくさんの方々にご協力を頂き有り難うございました。これからも皆様方のご意見をお聞きしながら、内容の充実に努めてまいりますので、宜しくお願い致します 編集委員一同

### コミュニケーション力の育成 各校との交流学習や

体験学習を通して  
霞丘小学校長 永瀬 通子

今年度、霞丘小学校の児童数は八名。保護者や地域の皆様の力強いご支援をいただき、一人一人が個性を発揮してのびのびと学習に励むことができました。皆様に、心より感謝申し上げます。

今年度は、子どもたちのコミュニケーション力や社会性、集団への適応力を育てていきたいと思ひ、特に他校との交流学習や体験学習に力を入れました。

六年生一名は、中学校に進学して、早く友達ができるように、連島南小の六年生と交流を進めました。徐々に仲良くなり、顔見知りも増えたようです。

琴浦北小学校とは互いに訪問し合つて、学校紹介やレクリエーション、音読、スポーツなどで交流を深めました。

倉敷ロータリークラブ主催の「ふれ愛体験学習」では、倉敷芸科大で連島西浦小四年と共に、大学の先生から、授業を受けました。最先端の科学に基づいた授業はわくわくドキドキの連続でした。

芸術鑑賞では、本荘小学校でオペラ「森は生きている」を鑑賞しました。本荘小の子ど

### 大役を終えるにあたって

町内会長 三宅 俊輝

まさか自分が町内会長という大役を引き受けることになるうとは夢にも思いませんでした。青天の霹靂とはまさにこのことです。

これまで町内のことに関する経験は、子供会、青壮年部だけでしたので、いざ会長を受けることになり、できるかどうか心配でした。申し送りを受けて、年間の事業は何とか把握できましたが、以前どんなことをしたか、議事録として殆ど残されて無く、役員さんとおれこれ相談しながら運営して参りました。

その中で一番感じたのが、情報開示が不十分では(？)ということでした。総会等で決議された事や連絡事項は、回覧板等で町内の皆さんに「みえる化」をしたらと思ひ、できる限りスピーディにお伝えしました。

二年目は様子がわかっていましたので、割とスムーズに運営していましたが、七月に大水害が発生しました。幸い町内では被災者はありませんでしたが、中には親戚、知人で被災された方があり、中には親戚、知人で被災して倉敷市に義援金を出させていただきました。

最後に、町内の皆様方、役員の方の協力によりまして無事何事もなく終われること、心より感謝申し上げます。皆様有難うございました。

もたちと一緒に劇中歌を歌う場面では、役者と観客が一つになる醍醐味を味わいました。

九月には、真備東中の三九〇人が本校で学習しました。本校の子どもたちのかわいらしく純な姿は、中学生にとって癒やしともなつたようです。

交流会や、体育で一緒に踊ったUSAダンスなど楽しい思い出もできました。私たちは困難な中でも真剣に明るく学ぶ姿から多くのことを教えていただきました。



その他、地域の方や外部の講師を招いて、「ペットボトル・ロケット」「日本画ワークショップ」「フラワーアレンジメント」「吟と舞の教室」「倉敷芸科大留学生との交流会」「食育セミナー」など、いろいろな活動を実施しました。それらの体験を重ねていくうちに、子どもたちは初めての人ともしつかりと関わり、自分を表現したり、自分から働きかけたりするようになり、確かな成長を感じてうれしく思っています。

来年度も、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長のために、工夫を重ねてまいります。どうかご支援をよろしくお願いいたします。

### 真備東中学生を見送る

昨年7月の西日本豪雨で被災された、真備東中学校の生徒さんたちが、9月3日から当地区霞丘小学校を仮校舎として授業されました。

慣れ親しんだ自分たちのグラウンドにプレハブ校舎が完成して帰ることになり、最終日の9月27日(木)に校門で、地区の方々、霞丘小学生がお見送りをしました。小学生たちは「真備東中学校の皆さんお元気で！」と書いたメッセージボードを手に持ち、名残惜しそうに手を振っていました。

車内からもほとんどの生徒さんが手を振ってくれ、最後のバスが出発した後に、先生方がわざわざ寄つて来られてご挨拶をいただきました。

地区の方からの「頑張ってくださいよ」の声かけもあり、同じ市民として『絆』というものを改めて思い直しました。



### 体育部活動報告

平成30年度より体育部を担当することになりました。これまでの要領を存じませんが、私なりにやってみようかと考えています。

最初のイベントが、5月19日に行われた春の小学校運動会でした。

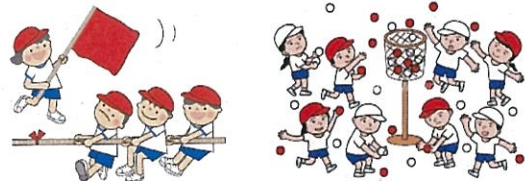
しかも、今年の運動会は、倉敷ケーブルテレビ(KCTV)の取材を受けるという年にあたり、私にとつては忘れ得ぬハプニングでした。

今回は初めてということもあり、経験豊富な前任者にマイクを握っていただきました。おかげさまで参加者の笑いを誘い、楽しんでいただけたのではと思つています。

あの玉入れ、綱引き等でのマイクパフォーマンスには到底及びませんが、少しづつでもアドバイスをいただけて、今後も盛り上げていければと考えています。

前任者も心配されていた、町内の盛り上げ方についてご意見、ご要望がございましたら、お声をお寄せいただけたらと思つています。今後ともよろしく願ひいたします。

(体育部部长 三宅 孝司)



### 高齢者交通安全講習会開催

秋の交通安全運動期間中である9月28日(金)に、水島警察署の協力を頂き、交通安全講習会を開きました。

運動期間の最終日である『9月30日は交通事故死ゼロをめざす日』を目標に、全国共通の4つの重点目標、岡山県の2つの重点目標を説明して頂き、岡山県下の交通事故発生状況、水島地区の事故発生場所ワースト10、交通事故防止のキャッチフレーズ『ゆずろう！・とまろう！・まもろう！』も紹介されました。



また今回、特に高齢者向けに、最近の犯罪の傾向であるハガキによる特殊詐欺が増えていることで、クイズ形式で講義を受けました。そして、最後に会長から、事故に遭遇した時の対処方法について話をして頂きました。

それによると、方が一事故を起こした時は、大小を問わず警察への連絡、救護義務を果すため救急車の手配、相手方への謙虚な対応、それから保険会社への連絡等をした方がいいそうです。

事故だけは起こさないように、遭わないようにしたいものです。